



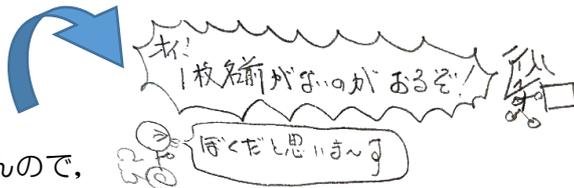
★テスト当日は・・・★

いよいよ木曜日、今年度最初の中間考査がある。テストの大切さは、イヤッ！キャッ！！イヤア～！！！！というほど先生たちも話してきているはずだが、あらためて確認しておこうと思う。

初歩的なことを大切に！

① 名前をきちんと書くこと！

毎年名前が書いてない人が必ずと言っていいほど学校に1人いる。回収後に言うと、本来なら、いちいち言ったり、調べたりせんので、0点ということになる可能性もある。



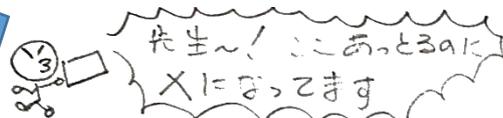
また、“福田”みたいに名字だけ、本当は漢字なのに“はしやまなおき”みたいにひらがなで書く人もおる。あなたの名前は親が愛情、願いを込めた意味のあるもの。

きちんと、ていねいに名前を書くべし！！

② 誰が見てもまちがいに読める字で書くこと！

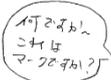
せっかく正解しても採点者が読めないような字だと×となる。1か4か7かわからん。そういう人に限ってテストを返したら、とあたかも私が悪いみたいにやってくる。

そこで、私はいつもクラスの5人程度に



『これ何て書いてると思うか?』ときく。5人がすべて読めれば0になるかもしれないが、だいたい

という返事が多い。また、消しゴムを使わずに 500 とかあったりする。



きれいに書けとは言わんが、ていねいにかけ！！

テストを解く手順

ものごとの順は「易から難へ」が原則。つまり易しい問題から解くということ。テストは必ず簡単な問題から順に並んでいるとは限らない。実際私の経験だが、数学の1問目がとてつもなく難しい問題で『何じゃ！この答えは！こんな答えがあるはずはない！よおし！お前の挑戦うけてやる！』⇒(30分後)『何回しても変な答えになる、くそ〜』、『時間ないからとばそ〜う。えっ！あとの問題ほとんどかんたんやん』ということで、難問にムキになった私はそのあと時間がなくてとくことがほとんどできずに終わった。いくら難問が解けたところで5点くらい。それやったら、まず確実にできる、わかる問題を先にたくさん解いた方が、点数が良いということは言うまでもない！！

高校生の新聞記事より

過程を大切に真剣に頑張る
(熊本市・高校生)

「終わりよければすべて良し」。結果さえきちんとしていれば、全体的に見ればよく見えてくるものだ。しかし、本当にそれでいいのだろうか？

結果だけを求めたら、真実が見えなくなることもあるのではないか。

大リーグで10年連続200本安打という偉業を成し遂げたイチロー選手。彼は、偶然でこのような素晴らしい結果を残したわけではない。その背後には血のにじむような努力があるはずだ。だが彼は、そこを見せない。

「結果」の対義語は「原因」である。イチロー選手には「裏の努力」すなわち、原因があつてこそその結果に達しない。

ところで、私は今年で高校生活最後の年。だから、これからは、あいさつに掃除に真剣に頑張る、結果だけでなく過程も大事だということを肝に銘じて頑張る。